

各 位

2022年8月12日  
株式会社リットーミュージック

「できる ゼロからはじめる」シリーズに「作曲入門」が登場！  
『できる ゼロからはじめる作曲 超入門』（侘美秀俊 著）が2022年8月26日発売に



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『できる ゼロからはじめる作曲 超入門』（侘美秀俊 著）を、2022年8月26日に発売します。

本書は『できる ゼロからはじめる楽譜&リズムの読み方 超入門』『できる ゼロからはじめる楽典 超入門』『できる ゼロからはじめるパソコン音楽制作超入門』などを執筆した著者が、パソコンを使った作曲のやり方をゼロから伝授していく画期的な1冊です。楽譜は一切使用せず、音の高さや長さをグラフィカルに表現したピアノロールを使って解説を進めていくので、譜面が読めなくても大丈夫。しかもDVDやYouTubeでの動画解説も用意されているので、それに従って作業を進めれば、知らず知らずのうちに曲作りの楽しさにハマってしまうこと請け合いです。

ぜひ本書を手にも、作曲の世界に足を踏み出してみましょう！

レッスン 2 作曲の手順を考えてみよう

キーワード → メロディ先行、ハーモニー（和音、コード）先行

音楽の3大要素のどれから作成しても、曲の傾向が変わってきます。取り組む問題はありますが、どこを優先するか、前にポイントを考えておきましょう。

「メロディ」が先か、「ハーモニー」が先か

① メロディ（旋律）先行

曲の「顔」であるメロディを先に作成する方法は、イメージしやすいです。なぜなら、鼻歌のような感覚で思い付いたメロディを組み合わせていけば良いからです。

➔ メリット

ハーモニー（コード）の制限を考慮しなくてもよいので、メロディの動きがより自然で歌いやすく、生き生きとしたものになることが多いです。メロディの盛り上がりやアクセントなどにハーモニーを一致させることができるので、観得力のあるバランスのとれた曲になります。

➔ デメリット

メロディとコードは対一関係ではなく、同じメロディに対していろいろなハーモニー（コード）の選択が可能です。ですから作曲に慣れないうちは、どのようなハーモニーを選択したらよいのか、そしてどんなハーモニーをつなげていけば自然になるかがイメージしにくいのです。

そのため、コードがスムーズではない、あるいは曲の「ムード」が思ったものと違う、はたまたメロディとコードがマッチしていないなどの不具合が起こりやすくなります。

② ハーモニー（和音、コード）先行

先に、ハーモニーのつながりを決定しておく方法です。メロディよりはパターンに限りがあるので、ある程度、曲づくりに慣れてきたらコードから作成することもできます。

➔ メリット

ハーモニーのつながりを「コード進行」といいますが、いくつかのおなじみの定形があります。それらを利用することで、曲の「ムード」をスムーズに決定することができます。

➔ デメリット

コードがスムーズになる一方で、メロディの動きがハーモニーに制限されてしまいます。ですからハーモニー以外の音をメロディに用いるテクニックが身に付かないと、メロディの音が飛び飛びになっごちなることが多いです。さらに、ハーモニーを先に決めることによってメロディの盛り上がりやアクセントを自然とつらくなるので、平坦で印象の弱いメロディになりがちです。

ヒント

コード進行を体感しつつ、その中で印象的なメロディを自由に発想していく「同時並行的な着想」が作曲の理想です。しかし始めのうちは「コード」をパターンで設定して、それにメロディを載せていく方法が簡単でしょう。本書では、まずこの方法でトライしていきます。

24 25

「第1章 曲の仕組みを知ろう！」の「レッスン2 作曲の手順を考えてみよう」より。メロディから考えるメリットとデメリット、ハーモニー（和音、コード）から考えるメリットとデメリット

レッスン 5 リズムパターンを覚えよう

キーワード → 8ビート、16ビート、シャッフル

拍のことを「ビート」といいますが、奏される基本的な刻みのリズムのパターン。ビジュアル音楽では、ドラムセットで演奏も「ビート」と呼びます。

「8ビート」と「16ビート」

いずれもドラムセットの3種の神器で構成される基本パターンです。細かいバリエーションはいろいろ考えられますが、大別してみます。

① 8ビート

キック

スネア

ハイハット（クロス）

➔ ハイハット（クロス）が8分音符のタイミングで刻みます。

➔ スネアが2拍、4拍のタイミングでアクセントを打ちます（これを「バックビート」といいます）。

➔ キックが、1拍目とスネアのタイミング以外の8分音符のタイミングに配置されます。

② 「16ビート」

キック

スネア

ハイハット（クロス）

➔ ハイハット（クロス）が8分音符（もしくは16分音符）のタイミングで刻みます。

➔ スネアが2拍、4拍のタイミングでアクセントを打ちます。

➔ キックが、1拍目とスネアのタイミング以外の8分音符が16分音符のタイミングに配置されます。

24 25

「第2章 曲のリズムを決めよう！」の「レッスン5 リズムパターンを覚えよう」より。メロディを考える土台となるリズムのパターンをご紹介します

## レッスン 12 ベーシックなコードを知ろう

キーワード **コードネーム、メジャー、マイナー**

実際の曲の中においては、音程の音だ... とんどを占めるケースが多いです。これ  
けを組み合わせて作られた「和音」が... をコードネームで確認してみましょう。

**「和音」の音の組み合わせを記号化＝「コードネーム」**

和音には、「長い3度」と「短い3度」の組み合わせが存在します。  
レッスン11で作った7つの和音は、この「3度の組み合わせパターン」によりコー  
ドネームが決められています。組み合わせは、次の3パターンです。

① 下から「長（メジャー）」+「短（マイナー）」の組み合わせ - 「メジャーコード」  
音階の1番目「Cメジャー」、4番目「Fメジャー」、5番目「Gメジャー」です。  
メジャーコードは、一番下の基準の音名だけで表記します。「C」「F」「G」

② 下から「短（マイナー）」+「長（メジャー）」の組み合わせ - 「マイナーコード」  
音階の2番目「Dマイナー」、3番目「Eマイナー」、6番目「Aマイナー」です。マイナ  
コードを表すには基準の音名に「小文字のm」を併記します。「Dm」「Em」「Am」

③ 下から「短（マイナー）」+「短（マイナー）」の組み合わせ - 「ディミニッシュコード」  
音階の7番目「Bマイナー」、マイナスファイブ（フラットファイブ）コードです。  
「Bm-5」（「Bm♭5」と表すことも）

\*メジャー、マイナーに比べて、響きが特徴的なので覚える頻度が高いコードです。  
ですからここにはいったんグループからは除外して考えることにします。

### 1 メジャーコードのサウンドを確認しよう

コピー&ペーストなどを利用して、1小節分の長さで「C」「F」「G」のコードを並べて配置します

コードをつなげて再生して、メジャーコードの響きを確認しましょう

### 2 マイナーコードのサウンドを確認しよう

コピー&ペーストなどを利用して、1小節分の長さで「Dm」「Em」「Am」のコードを並べて配置します

コードをつなげて再生して、マイナーコードの響きを確認しましょう

**ヒント**

音階の音だけの組み合わせによるこの7つのコードを「ダイアトニックコード」といいます

メジャースケールを基準としたときには、1番目、4番目、5番目のメジャーコードは「主要キヤスト」2番目、3番目、6番目のマイナーコードは「サブキヤスト」この記号でドラマが構成されるように、曲もこのコードのつながりで構成されます。

46 | 47

「第3章 コード進行を考えよう！」の「レッスン12 ベーシックなコードを知ろう」より。よく使われるコードを覚え、その組み合わせで曲を作っていきます

## 18 ルート音

### 1 コードのルート音をベースに配置しよう

レッスン15で作成した8小節のコードそれぞれ、ベースパートのトラックにコードの「ルート」音を配置します（ボイスリーディングする前の基本形を想定します）

再生して「ベース」がコードの支えになっていることを確認しましょう

**ヒント**

4→5小節目、5→6小節目のボイスリーディングでは、あえてトップノートを「G-A」や「E-F」とすぐ隣の近い音に進めるのではなく、3度で下降進行しています。これはベースのルート音の動きと並行したオクターブを避けるための伝統的な処理です。

### 2 オクターブを変更してみよう

ベースの音のつながりや流れを考えて、ところどころ任意でオクターブを変更してみましょう

音域が変更されたことで、コードの支えの重心やフレーズのつながりが変わったことを確認しましょう

**ヒント**

ベースの動きは、躊躇することで全体にダイナミックな印象を受けます。それとは逆にP67のヒントのように転回形などを使った、消やかなベースラインは程やか印象を受けます。曲のジャンルによって、どのような印象のベースラインがふさわしいかを検討すると良いでしょう。

68 | 69

「第4章 ベースを準備しよう！」より「レッスン18 土台となるベースが弾く音を考えよう」実践部分。コード進行にベースを配置していきます

**レッスン 24 覚えやすいメロディになる音を考えよう**

キーワード **五音音階、ペンタトニックスケール**

「メロディ」を構成するピッチは、コードと異しく音階（スケール）の音の組み合わせになります。そしてその中には、

特に多用される5つの音の組み合わせも存在します。これが五音音階、ペンタトニックスケールです。

**半音を含まない「ペンタトニックスケール」が有効です**

「C（ド）」を中心としたとき、5度上は「G（ソ）」、そしてその5度上の音……と、さらに繰り返していくと「D（レ）」「A（ラ）」「E（ミ）」という5つの音の組み合わせになります。この5つの音をオクターブ内の音階上に並べたものが「ペンタトニックスケール」です。

全7つの音のスケールから「F（ファ）」と「B（シ）」が省かれることで、「E（ミ）」と「F（ファ）」「B（シ）」と「C（ド）」という半音が避けられるため、

●コード（和音）との「ぶつかり」が生じにくい  
（キーがCメジャーの場合、コードがEm7とG7のときのメロディは「C（ド）」を外せばすべてOKなのです！！）

●半音の連続はないが、聴いて親しみやすい雰囲気のあるメロディとなるという特徴があります。

全7つの音のスケールから「F（ファ）」と「B（シ）」が省かれることで、「E（ミ）」と「F（ファ）」「B（シ）」と「C（ド）」という半音が避けられるため、

●コード（和音）との「ぶつかり」が生じにくい  
（キーがCメジャーの場合、コードがEm7とG7のときのメロディは「C（ド）」を外せばすべてOKなのです！！）

●半音の連続はないが、聴いて親しみやすい雰囲気のあるメロディとなるという特徴があります。

ド レ ミ ファ ソ ラ シ

ド レ ミ ファ ソ ラ シ

1 ペンタトニックから1つの音だけで演奏してみよう

2 ペンタトニックの音を組み合わせさせて演奏してみよう

ヒント

ペンタトニックスケールで構成されているメロディは、古くは民族音楽や民謡、現在では日本や洋楽ポップスなど、あらゆるジャンルで確認できます。誰しもが口ずさめる、素朴で親しみやすいフレーズになるので、印象に残りやすいメロディとなります（『望の光』などが良い例です）。

「第5章 メロディを作ろう！」の「レッスン 24 覚えやすいメロディになる音を考えよう」より。本書ではある音階を使うことで失敗の少ないメロディづくりを伝授します

■書誌情報

書名：できる ゼロからはじめる作曲 超入門

著者：侘美秀俊

定価：1,760 円（本体 1,600 円＋税 10%）

発売：2022 年 8 月 26 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3121317112/>

CONTENTS

第1章 《曲の仕組みを知ろう！》

01 音楽の3大要素を知ろう

02 作曲の手順を考えてみよう

Q&A 作曲に必要なソフトは？

第2章 《曲のリズムを決めよう！》

03 拍子とカウントをおさらいしよう

04 「ドラム」の仕組みを知ろう

05 リズムパターンを覚えよう

06 リズムとテンポの関係をおさらいしよう

07 「グルーブ」＝音の強弱を考えよう

08 4小節分のドラムパターンを考えよう

09 8小節分のドラムパターンを考えよう

Q&A 16分音符より細かな音符を使ったリズムは？

第3章 《コード進行を考えよう！》

10 ドレミファソラシドを確認しよう

11 コードの仕組みを覚えよう

12 ベーシックなコードを知ろう

13 土台になるコード進行を考えてみよう

- 14 コード進行を実際に鳴らしてみよう
- 15 コード進行の置き換えを試してみよう
- 16 コードパターンを活用しよう
- Q&A ダイアトニックではないコードとは？
- 第4章《ベースを準備しよう！》
- 17 ベースの役割を知ろう
- 18 土台となるベースが弾く音を考えよう
- 19 ベースが弾くリズムを考えよう
- 20 ベースが弾く音の長さを調節してみよう
- 21 ベースが弾く音の高さを変更してみよう
- 22 コードにもリズムを付けてみよう

Q&A ベースラインにはパターンがありますか？

- 第5章《メロディーを作ろう！》
- 23 「メロディ」についてまとめておこう
- 24 覚えやすいメロディになる音を考えよう
- 25 メロディのアウトラインを考えよう
- 26 アウトラインを上下にズラしてみよう
- 27 アウトラインを左右にズラしてみよう
- 28 モティーフを活用しよう
- 29 「反復」を使ってフレーズを構成してみよう
- 30 フレーズを「対比」で構成してみよう
- 31 8小節のメロディを構成してみよう

Q&A ダイアトニックスケールによるメロディの印象は？

- 第6章《1コーラスを設計しよう！》
- 32 セクション（段落）を考えてみよう
- 33 セクションとメロディの関係を考えよう

Q&A 「作詞」はどうしたらいいですか？

付録：使えるコード進行例、ミニ音楽用語集、キー別コード一覧

## PROFILE

侘美秀俊（たくみ ひでとし Hidetoshi Takumi）

北海道帯広市生まれ。武蔵野音楽大学卒業。作曲楽曲の提供は、陸上自衛隊音楽隊の委嘱作品、国民体育大会や音楽ホールのためのファンファーレ、劇場上映映画やTVドラマのオリジナルサウンドトラックから、演劇舞台のための音楽、シンフォニックコンサートのオーケストラアレンジ、こどものためのオペレッタまで多岐にわたる。現在、大阪音楽大学ミュージック・クリエーション専攻 特任准教授、学校法人誠泉学園 柏陽幼稚園講師、ローランドミュージックスクール コンピュータミュージック指導者養成コース講師、トート音楽院渋谷校講師、JBG音楽院講師（表参道）、オンラインDTMスクールSleepfreaks講師、オンラインミュージックスクール『オトマナビ』講師。主な著書に『ちゃんとした音楽理論書を読む前に読んでおく本 [増補版]』『ちゃんとした和声学書を読む前に読んで

おく本』『3つのケーススタディでよくわかるオーケストレーション技法』『マンガでわかる！音楽理論1～3』『できる ゼロからはじめる楽譜&リズムの読み方 超入門』『できる ゼロからはじめる楽典 超入門』『できる ゼロからはじめるパソコン音楽制作超入門』（リットーミュージック刊）、『中学生・高校生のための吹奏楽楽典・音楽理論』『楽しく身に付く 音楽の基礎知識～音楽記号・用語』『楽しくわかる！小学生のための楽譜の読み方&リズムのきほん』（シンコーミュージック刊）がある。株式会社H-t studio代表、北海道作曲家協会理事、日本作曲家

協議会（JFC）会員、日本音楽著作権協会（JASRAC）正会員。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)